

○令和6年度における御嵩町地球温暖化防止対策実行計画における点検結果について

項目	基準年度（平成25年度）		対象年度（令和6年度）		比較増減	
	使用量（ℓ）	CO2排出量（kg-CO2/年）	使用量（ℓ）	CO2排出量（kg-CO2/年）	使用量（ℓ）	CO2排出量（kg-CO2/年）
公用車（ガソリン）	34,826.23	80,796.85	17,119.75	39,204.23	-17,706.48	-41,592.62
公用車（軽油）	5,480.21	14,358.15	4,624.83	12,117.05	-855.38	-2,241.10
通勤車（ガソリン）	41,401.83	96,052.25	36,155.53	83,880.83	-5,246.30	-12,171.42
通勤車（軽油）	1,174.24	3,076.52	1,609.94	4,218.05	435.70	1,141.53
灯油	15,597.11	38,836.80	4,106.96	10,267.40	-11,490.15	-28,569.40
A重油	114,500.00	310,295.00	34,000.00	93,500.00	-80,500.00	-216,795.00

項目	使用量（kwh）	CO2排出量（kg-CO2/年）	使用量（kwh）	CO2排出量（kg-CO2/年）	使用量（kwh）	CO2排出量（kg-CO2/年）
電気	1,122,714.52	579,320.69	967,364.00	407,260.24	-155,350.52	-172,060.45

	基準年度（平成25年度）	対象年度（令和6年度）	増減		
CO2排出量合計	1,122,736.26	650,447.80	-472,288.46	対基準年削減率	42.07%

【令和6年度におけるCO2の排出状況】

基準年度である平成25年度は、気象庁の発表では春の後半から秋の前半にかけて年間日照時間が1946年の統計開始以来最も多い記録を上回り、全国的に高温傾向が続いたことで、年平均気温が高かった。また、対象年度である令和6年度においては、年間平均気温がこれまでの1位を大きく上回って統計開始移行最も高い数値となると発表されています。そのため、冬季における暖房のための電気、灯油、A重油の使用量の差がCO2の排出量の削減に大きく影響したとみられます。

また、一部の施設に係る電気使用におけるCO2の排出係数が0.516から0.433と改善していることもCO2の削減要因となりました。

一方、公用車の運用においては、コロナ禍以降、Web研修等が増加したことに伴い、出張等の遠出が減少したことで、ガソリン及び軽油の使用量が減少しています。

通勤車両については、ノーマイカーデイの実施等により職員の燃料使用量に影響したものと考えられます。